

## 〈三郷学の視点③7〉

### 三郷学の視点

#### 18. 発想法(チェックリスト法)

第4次三郷市総合計画の前期基本計画には、自治基本条例の適切な運用と総合計画の効果的な実施を通して、三郷学を実践していくことが記されています。

三郷学とは、三郷の資源(人・自然・地勢・産業・交通・歴史・教育・文化)をあらためて認識し、それらの資源を活かしながら、三郷を取り巻く社会環境の変化を見据えつつ、三郷の歩むべき方向性を常に考え行動する学(まなび)です。

三郷の歩むべき方向性を市民のみなさんとともに考えるには、前例にとらわれない、柔軟な発想が求められます。いろいろな発想をめぐらすためには、さまざま

な発想法を活用することが効果的です。代表的な発想法の一つに、オズボーンのチェックリスト法があります。

チェックリストを活用することで、検討漏れを防ぐことが可能となり、チェック項目を追加していくことで、より多方向からの充実したチェックを行うことができます。

そしてこのようにさまざまな視点から物事を検討することにより、新たな発想が生まれ、三郷をより良い方向へと導くきっかけとなっていきます。

#### 【チェックリストの例】

- 拡大したら(縮小したら).....
- 重くしたら(軽くしたら).....
- 早くしたら(遅くしたら).....
- 上下したら.....
- 素材を変えたら.....
- 色、音、香り、動き、形などを変えたら.....
- レイアウト、位置を変えたら.....
- ペース、スケジュールを変えたら.....
- 組み合わせたら(分割したら).....
- 追加したら(取り除いたら).....

